

大阪を歩く(京街道編) <参考資料>

田中睦彦

(1) 高麗橋～守口宿



(2) 守口宿



(3) 守口宿～枚方宿



茨田堤



衿子絶間跡碑



光善寺太鼓楼



蓮如上人像



さいかちの木



蓮如上人廟碑



蓮如腰掛石



光善寺正門



石川丈山作庭園



蓮如上人廟

(4) 枚方宿



鍵屋



くらわんこ・ひらにゃんこ



御茶屋御殿から淀川を



田中家ムクノキ



鍵屋資料館



淀川河川敷



別子山鈴見の松

2013.09.21

(5) 枚方宿～楠葉



(6) その他



大阪府 大阪府中央区～守口市大庭町

歩行距離 11.3km
標準歩行時間 2時間22分
標準所要時間 4時間40分
(標準所要時間とは、観光、休憩を含めた時間)

京街道の起点、高麗橋から北の方向へ進みます。大阪城を過ぎてしばらく行くと京橋駅に至ります。この辺りは車が多いので注意して歩きましょう。「関目七曲り」といわれた、京阪関目駅付近の複雑な道を通りさらに進むと、京阪守口市駅前に到達。ここから文禄堤の名残を歩きます。



道標

大阪市内の主要な旧街道沿いには旧街道を顕彰する道標が建てられています。京街道、熊野街道をはじめ大阪市内にはたくさんの街道が通っていました。道端にこの道標を見つければ、そこは旧街道。道標をたよりに昔の旅人たちと同じ道をたどりながら街道散策を楽しめます。

野江水神社

水波女神(みずはめのおおかみ)が祭神。天文2年(1533)に、三好長政が近くに榎並城を築く際、たびたび水害に見舞われたことから、水火除難の守護神として建立したのが起源といわれています。現在も、水道工事やお風呂屋さんなど水に関係する人の参拝が多い神社です。

文禄堤

文禄5年(1596)に豊臣秀吉が毛利輝元、小早川隆景、吉川広家などに命じてつくらせた堤防。伏見城と大坂城を結ぶ最短陸路として整備したのですが、淀川治水などの役割も果たしました。守口市の本町2丁目付近に残る文禄堤には、今でも風情のある美しいまちなみが残っています。

難宗寺

文明9年(1477)、蓮如上人が創建した守口御坊が始まりといわれる寺。少し東寄りにある盛泉寺を東御坊と呼ぶのに対して、西御坊と呼ばれています。境内にある樹齢約500年、高さ約25mのたいちょうは、大阪府の天然記念物に指定されており、毎年秋には美しく色づきます。

スタート地点までの電鉄情報

大阪府	淀屋橋駅	京阪本線 約1分	北浜駅
京都府	四条駅	京阪本線特急 約47分	北浜駅

帰りの電鉄情報

大阪府	守口市駅	京阪本線準急 約12分	淀屋橋駅
京都府	守口市駅	京阪本線準急 約17分	枚方市駅
		京阪本線特急 約26分	四条駅



守口市八雲北町～枚方市伊加賀本町

歩行距離 10.4km
標準歩行時間 2時間10分
標準所要時間 4時間20分
(標準所要時間とは 観光、休憩を含めた時間)

守口市を過ぎ、寝屋川市に入ります。この付近では、淀川の流れを眺めながらゆっくりと堤防歩きを楽しんでください。堤防から離れる地点を間違えないように注意して進みましょう。堤防を離れてしばらく歩いたところにある光善寺付近には、昔ながらの家並みが続いています。



佐太天神宮

菅原道真が太宰府に流される際、しばらく舟をつないだ地に、後年になって祠を建てたのが始まりとされています。近世の神社の様子がよく残されているとして、平成15年(2003)、大阪府指定有形文化財に指定されました。また、境内の林は「大阪緑の百選」に選ばれています。



茨田堤

日本書紀に登場する、日本で最初の堤。工事が難航したため武蔵強頸(むさしのこわくび)と茨田杉子(まんだのころもこ)が人柱に選ばれ、強頸は犠牲となったもの、杉子は機転を利かせて助かったという伝説が残ります。淀川堤防に「茨田堤」の碑が建てられています。



鞆呂岐神社 寄進の鳥居

桃山文化の流れを汲む、彩色の美しい本殿が特徴の神社。境内奥にある鳥居は、「忠臣蔵」で有名な赤穂浪士の一人、村松喜兵衛秀直の4代目の子孫が寄進したものといわれ、鳥居にはその名が刻まれています。このことから、この鳥居は「寄進の鳥居」と呼ばれています。



光善寺

蓮如上人の開基といわれる寺。建立にまつわる伝説として、近くの池に住む龍女が上人の説法によって功德を積み、さいかちの木を伝って昇天したという話が残っています。その池の跡に建てたのが光善寺であるといわれ、さいかちの木は大阪府の天然記念物に指定されています。



スタート地点までの電鉄情報

大阪方面へ	東梅田駅 大阪市営地下鉄谷町線 約18分	大日駅
京都方面へ	四條駅 京阪本線特急 約28分	枚方市駅 京阪本線準急 約12分
	萱島駅 京阪本線 約4分	門真市駅 大阪モノレール 約2分
		大日駅

帰りの電鉄情報

大阪方面へ	枚方公園駅 京阪本線準急 約27分	淀屋橋駅
京都方面へ	枚方公園駅 京阪本線特急 約3分	枚方市駅 京阪本線特急 約26分
		四條駅



京都府 枚方市伊加賀本町～八幡市橋本北ノ町

歩行距離 11.1km
標準歩行時間 2時間19分
標準所要時間 4時間30分
(標準所要時間とは、観光、休憩を含めた時間)

京街道のなかでも、大きな見どころの一つである「枚方宿」を歩きます。この辺りは、地域の人々の取り組みなどによって街道のまちなみが大切に保存されています。時期によってはイベントも行われており、散策をより楽しいものにしてくれます。そこからさらに歩を進め、御殿山から枚野、楠葉を過ぎ、いよいよ京都に入ります。



万年寺山

以前、万年寺があったことから万年寺山と呼ばれる小高い丘陵。「万年寺山の緑陰」は、枚方八景の一つであり、なかでも意賀美(おかみ)神社の梅林の美しさは名高く、見物客でにぎわいます。豊臣秀吉が建てたとされる御茶屋御殿跡は展望広場となっています。



淀川資料館

昭和49年(1974)に、淀川改修着手百周年記念事業の一つとしてオープン。自然・歴史・文化から淀川改修事業まで淀川の姿を知ることができます。「淀川の環境」「くらしと淀川」「淀川の歴史」のゾーンにわかれ、パソコンによる情報提供、ビデオ上映、図書コーナーなどもあります。



イベント ジャズストリート

枚方宿地区まちづくり協議会と枚方市の主催で、毎年10月下旬～11月中旬に開催される「枚方宿街道菊花祭」。街道沿いの家の軒先に菊の鉢が飾られます。なかでもメインイベント「枚方宿ジャズストリート」は、お寺の本堂などでジャズ演奏を行う斬新な企画で、市内内外からジャズファンが訪れます。



渚院跡

文徳天皇の第一皇子、稚喬(これたか)親王の別荘として創建。親王は鷹狩りや紅葉狩り、桜見物などにしばしば訪れ、在原業平や紀有常と親交を深めていました。伊勢物語の第82段には在原業平が渚院の桜を詠んだ有名な歌が記されており、渚院跡にはその歌の歌碑が建てられました。



スタート地点までの電鉄情報

大阪方面
淀屋橋駅 京阪本線準急 約24分 枚方公園駅
京都方面
四条駅 京阪本線特急 約28分 枚方市駅 京阪本線準急 約2分 枚方公園駅

帰りの電鉄情報

大阪方面
橋本駅 京阪本線準急 約3分 楠葉駅 京阪本線特急 約28分 淀屋橋駅
京都方面
橋本駅 京阪本線準急 約12分 中書島駅 京阪本線特急 約10分 四条駅

